

【資料1】

令和5年度 第1回柏市国民健康保険運営協議会資料

# 令和4年度柏市国民健康保険事業特別会計 決算見込みについて

---

令和5年7月13日(木)  
柏市健康医療部保険年金課

# 目次

令和4年度 決算	1-①. 令和4年度決算見込（歳入）	P3	国保料	5. 国保料(税)収納率の推移（現年分）	P11
	1-②. 令和4年度決算見込（歳出）	P4	被保険者 の状況	6-①. 被保険者数の推移	P12
	1-③. 令和4年度決算見込（収支）	P5		6-②. 被保険者数の増減内訳（4-3月）	P13
	1-④. 前年度決算との比較（歳入）	P6		6-③. 軽減世帯の割合	P14
	1-⑤. 前年度決算との比較（歳出）	P7	被保険者 一人あたり の状況	7-①. 一人当たり保険料調定額の推移	P15
2. 国保会計における収支の推移	P8	7-②. 一人当たり医療費の推移		P16	
基金 繰入金	3. 一般会計から国保会計への繰入金推移	P9		7-③. 一人当たり医療費の内訳	P17
	4. 国保財政調整基金の推移	P10	予定	8. 今後の予定	P18

# 1 -①. 令和4年度決算見込（歳入）

単位：百万円

区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③ = ① + ②	決算見込 ④	差引額 ⑤ = ④ - ③	収入率 ⑥ = ④ / ③
1. 保険料	8,281	0	8,281	8,223	- 58	99.30%
2. 国・県支出金	28,335	0	28,335	25,642	- 2,693	90.50%
3. 繰入金	3,994	775	4,769	4,665	- 104	97.82%
【再掲】一般会計繰入金（法定内）	2,564	19	2,583	2,479	- 104	95.97%
【再掲】一般会計繰入金（その他）	0	1,100	1,100	1,100	0	100.00%
【再掲】基金繰入金	1,429	- 344	1,086	1,086	0	100.00%
4. 繰越金	0	83	83	89	6	107.23%
5. その他の収入	90	0	90	135	45	150.00%
歳入合計（A）	40,700	858	41,558	38,754	- 2,804	93.25%

※表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

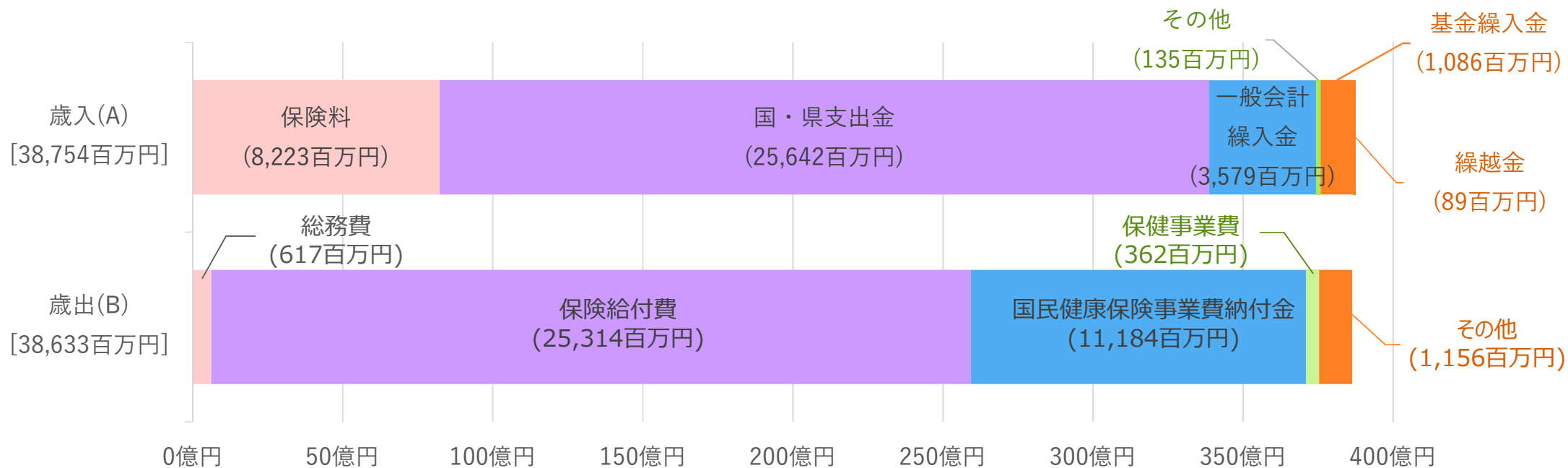
## 1 -②. 令和4年度決算見込（歳出）

単位：百万円

区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③ = ① + ②	決算見込 ④	差引額 ⑤ = ④ - ③	執行率 ⑥ = ④ / ③
1. 総務費	687	0	687	617	- 70	89.81%
2. 保険給付費	28,027	0	28,027	25,314	- 2,713	90.32%
3. 国民健康保険事業費納付金	11,184	0	11,184	11,184	0	100.00%
【再掲】医療分	7,393	0	7,393	7,393	0	100.00%
【再掲】後期高齢者支援金分	2,711	0	2,711	2,711	0	100.00%
【再掲】介護納付金分	1,081	0	1,081	1,081	0	100.00%
4. 保健事業費	438	0	438	362	- 76	82.65%
5. その他の支出	364	858	1,222	1,156	- 66	94.60%
【再掲】基金積立金	0	1,100	1,100	1,100	0	100.00%
歳出合計 (B)	40,700	858	41,558	38,633	- 2,925	92.96%

※表示単位未満の位で四捨五入しているため、計が一致しない場合がある。

# 1 -③. 令和4年度決算見込（収支）



単位：百万円

区分	当初予算 ①	補正予算 ②	現計予算 ③ = ①+②	決算見込 ④
収支差額 [(A) - (B)]	0	0	0	121
基金繰入金及び繰越金を除く収支	- 1,429	261	- 1,168	- 1,054

令和4年度決算の収支差額は **+121百万円** を見込んでいる。

ただし、歳入から基金繰入金及び繰越金を除いた場合は、歳入は歳出を割り込むこととなり、結果として **-1,054百万円** の赤字となる。

# 1 -④. 前年度決算との比較（歳入）

単位：百万円

区分	R3決算 ①	R4年見込み ②	増減額 ③ = ② - ①	増減率 ④ = (②/①) - 1
1. 保険料	8,396	8,223	- 173	- 2.06%
2. 国・県支出金	26,427	25,642	- 785	- 2.97%
3. 繰入金	3,321	4,665	1,344	40.47%
【再掲】一般会計繰入金（法定内）	2,439	2,480	41	1.68%
【再掲】一般会計繰入金（その他）	0	1,100	1,100	皆増
【再掲】基金繰入金	882	1,086	204	23.13%
4. 繰越金	50	89	39	78.00%
5. その他の収入	109	135	26	23.85%
歳入合計（A）	38,303	38,754	451	1.18%

# 1 -⑤. 前年度決算との比較（歳出）

単位：百万円

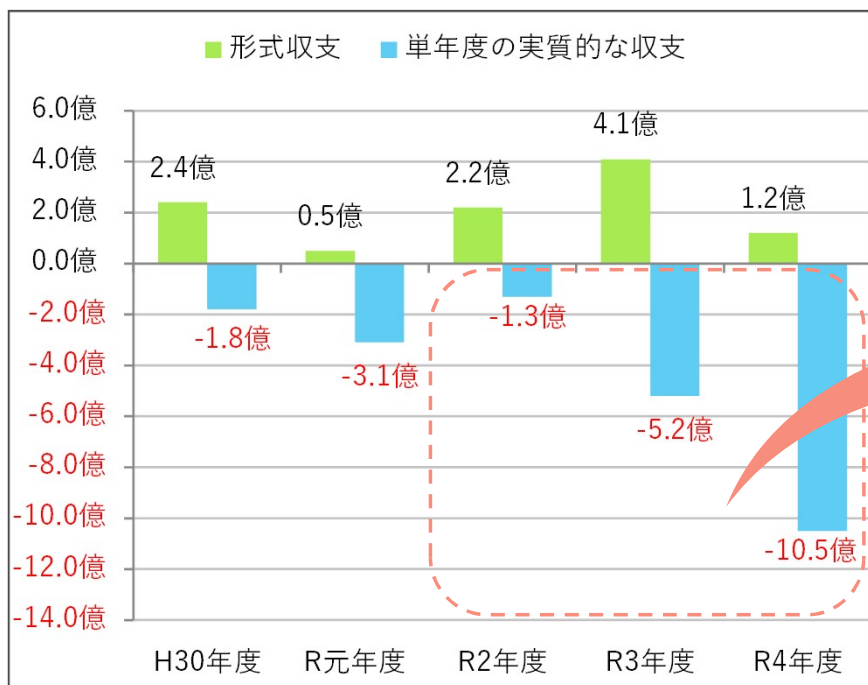
区分	R3決算 ①	R4年見込み ②	増減額 ③ = ② - ①	増減率 ④ = (②/①)-1
1. 総務費	585	617	32	5.47%
2. 保険給付費	25,966	25,314	- 652	- 2.51%
3. 国民健康保険事業費納付金	10,911	11,184	273	2.50%
4. 保健事業費	366	362	- 4	- 1.09%
5. その他の支出	65	1,156	1,091	1,678.46%
歳出合計 (B)	37,893	38,633	740	1.95%

区分	R3決算 ①	R4年見込み ②	増減額 ③ = ② - ①	増減率 ④ = (②/①)-1
収支差額 【(A) - (B)】	410	121	- 289	—
うち翌年度精算予定額	89	53	- 36	—

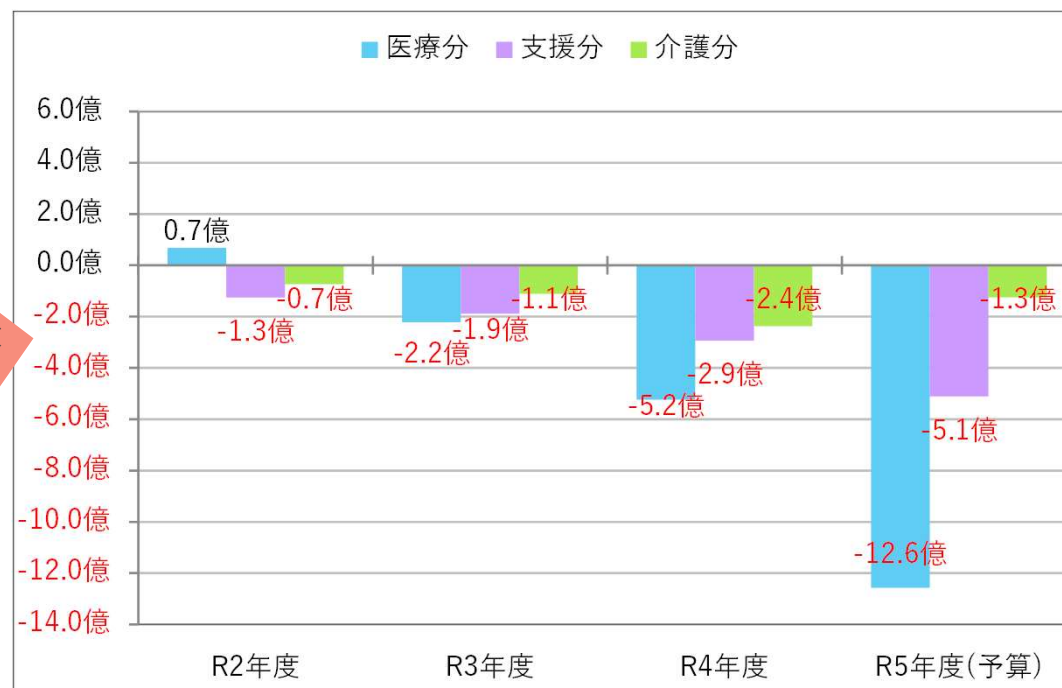
## 2. 国保会計における収支の推移

### ■近年の収支状況

- 平成30年度から、千葉県が市町村とともに保険者として国保の運営主体となることで、収支均衡を図る財政運営を行っている。
- 令和3年度から保険料率・額を据え置いてきており、実質的な収支がマイナスとなっているところ、財源不足分に対して国民健康保険財政調整基金を繰り入れることにより、形式収支を黒字化している。
- 実質的収支の内訳を医療分・支援分・介護分に分類したところ、令和3年度以降は全てが不足し、不足額は拡大傾向であった。



実質的な収支の内訳



#### 【用語定義】

- 形式収支：歳入－歳出
- 単年度の実質的な収支：形式収支－(法定外・基金繰入金，繰越金)+基金積立金

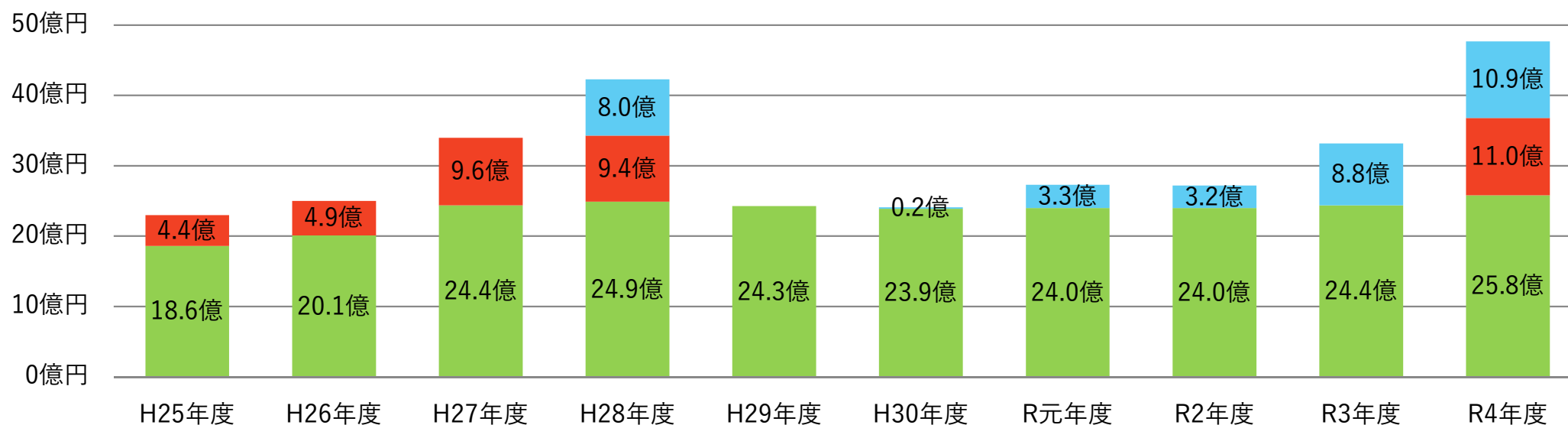


### 3. 一般会計から国保会計への繰入金推移

#### ■近年の状況

- 平成26年度及び平成27年度は社会保障の充実分として法定内繰入を増額。
- 平成28年度は保険料の改定幅を抑制するため法定外繰入を増額。
- 平成29年度から法定外繰入を解消（保険給付と保険料負担の関係を明確にし、保険財政運営の健全性を確保）  
※ 平成30年度から赤字市町村は赤字削減・解消計画を策定することとされている。

■ 法定内繰入 ■ 法定外繰入 ■ 基金繰入



#### 【用語定義】

- 法定内繰入：低所得者への保険料軽減措置等
- 法定外繰入：保険料負担抑制・赤字補填（全額市税）

## 4. 国保財政調整基金の推移

### ■取崩額

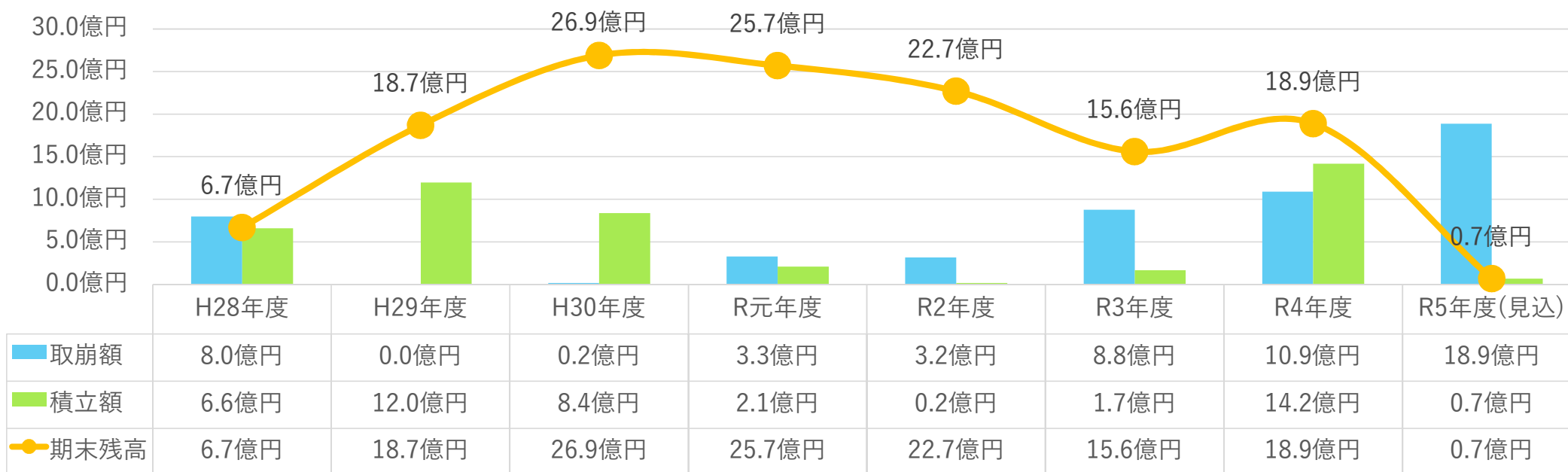
近年では令和元年度から億円規模での取り崩しを実施していたところ、特に令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の社会的な影響を鑑み、料率改定を見送り基金を活用した関係から令和3年度から取崩額が急増している。

### ■積立額

平成28年度から決算剰余金の「1/2を下らない額」を基金に積み立てている。

### ■期末残高

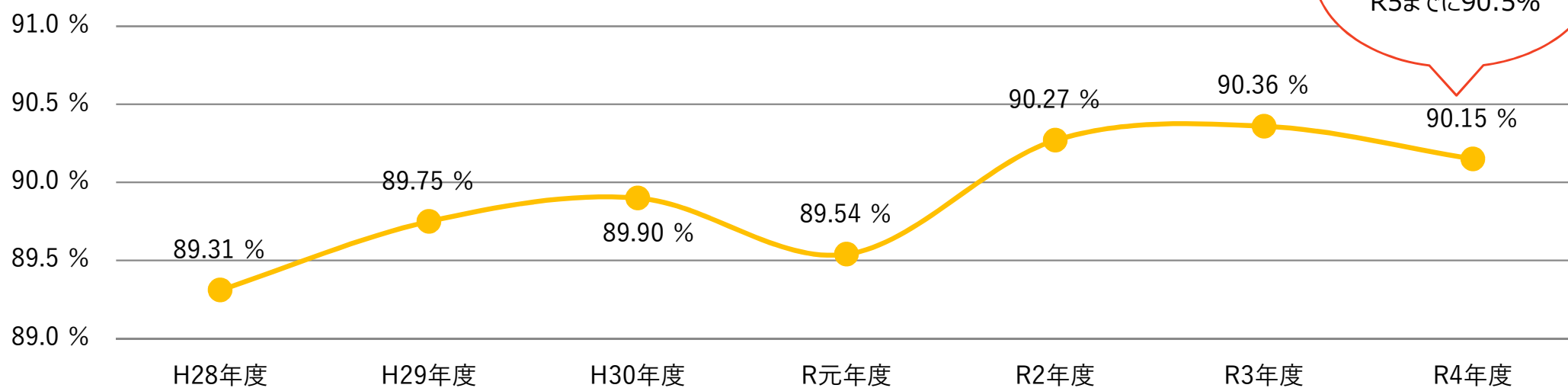
毎年基金を積み立ててはいるものの、これを上回る規模で基金の取り崩しを実施しており、**令和5年度の期末残高は約7千万円**となり、基金の役割である「疾病等の著しい増加、経済事情の変動等により財政運営上必要とするとき」に耐えうる金額とは言い難い。



## 5. 国保料(税)収納率の推移 (現年分)

### ■近年の状況

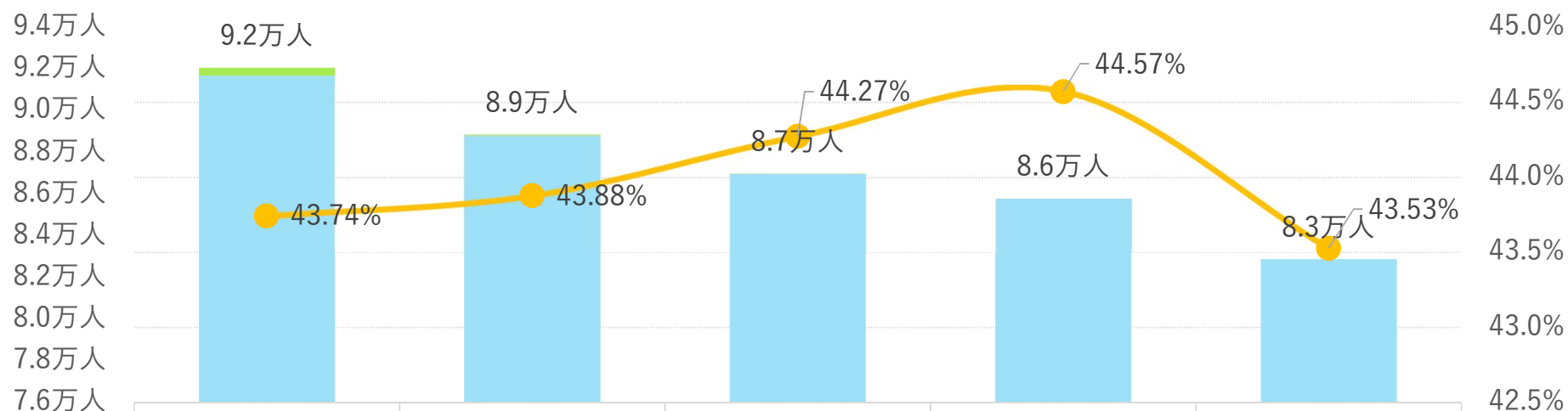
- 平成22年 8月：コールセンターを設置
- 平成26年 6月：口座振替を原則化
- 平成30年 4月：「Yahoo! 公金支払い」によるクレジット納付を開始
- 令和元年10月：「LINE Pay」による納付を開始
- 令和2年 4月：保険料分割納付における延滞金徴収時期の変更（本料優先納付），収納率向上アドバイザーの派遣
- 令和2年10月：ペイジー収納を開始
- 令和3年 4月：保険料のWeb口座振替受付サービス，PayPay納付を開始
- 令和4年 4月：保険料のd払い納付を開始



## 6-①. 被保険者数の推移

### ■被保険者数の推移について(年度平均)

- 被保険者は、被用者や年金所得者などが多い。
- 団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行、被用者保険の適用拡大など様々な要因により減少傾向にある。
- 退職被保険者は、退職医療制度の廃止により、柏市では令和3年度に0人となった。  
※退職医療制度の廃止に伴う経過措置は令和6年4月に前倒しで廃止予定

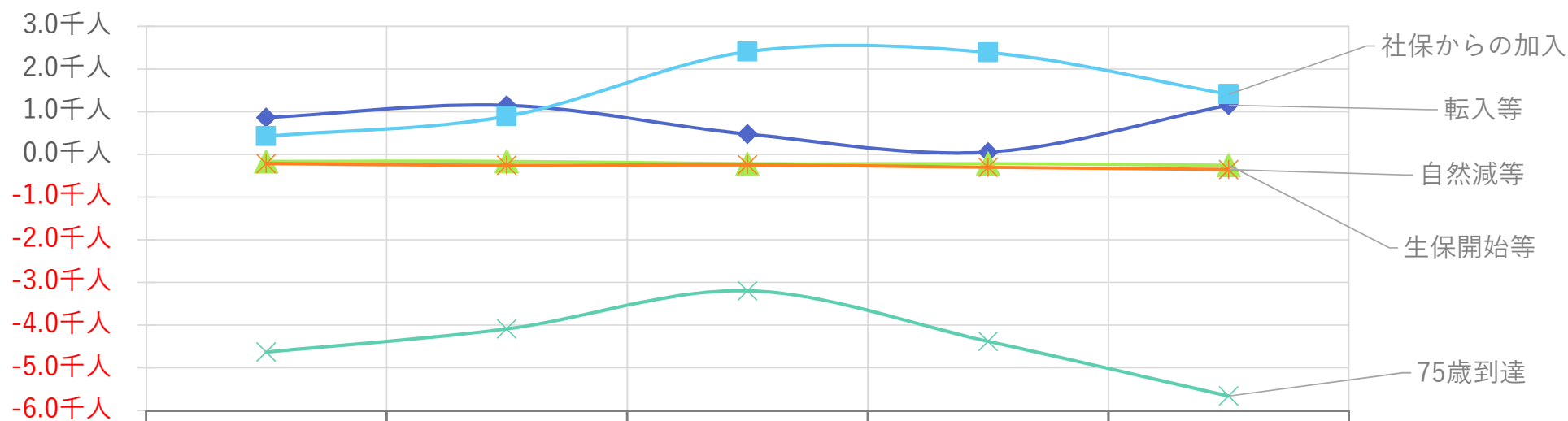


年度	【合計】被保険者数	【退職】被保険者数	【一般】被保険者数	前期高齢者割合
H30年度	92,064人	382人	91,682人	43.74%
R元年度	88,855人	56人	88,799人	43.88%
R2年度	86,984人	1人	86,983人	44.27%
R3年度	85,810人	0人	85,810人	44.57%
R4年度	82,884人	0人	82,884人	43.53%

## 6-②. 被保険者数の増減内訳（4-3月）

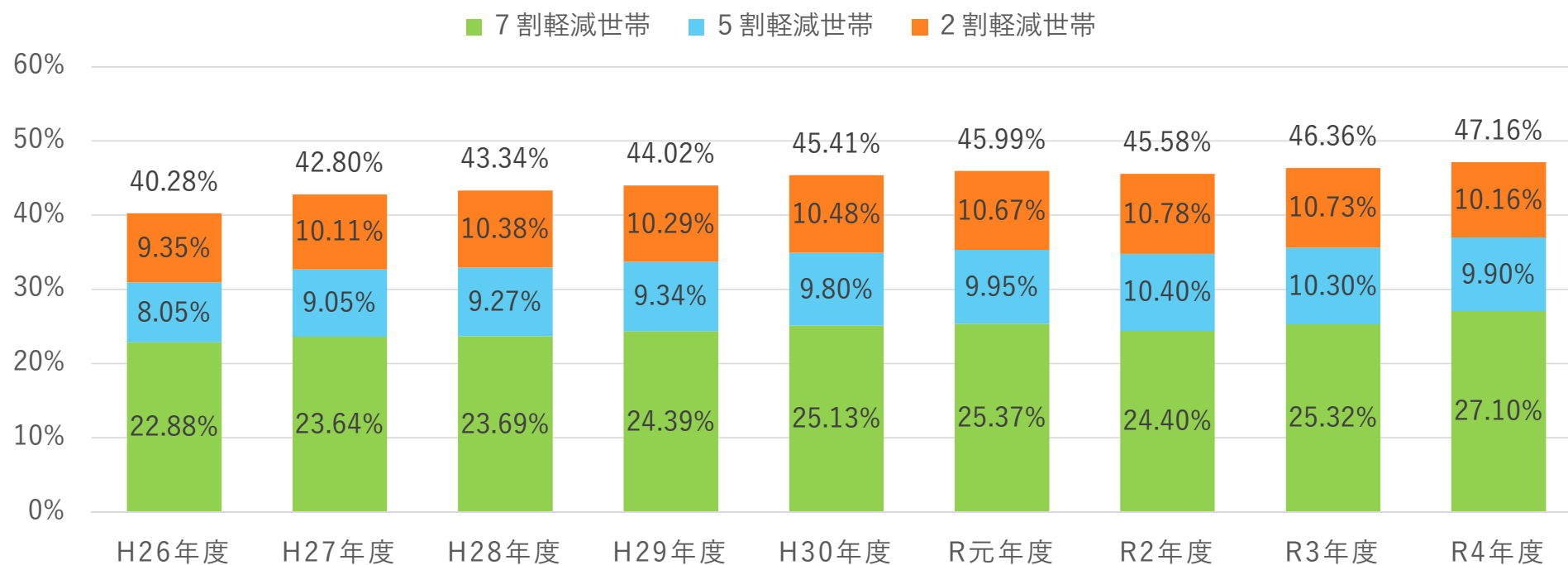
### ■増減の状況

- 社会保険からの加入及び転入者の加入が主要な増加要因となっている。
- 75歳到達による後期高齢者医療制度への移行が最大の減少要因となっている。



	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
◆ 転入等	862人	1,147人	475人	54人	1,152人
■ 社保からの加入	425人	894人	2,405人	2,387人	1,408人
▲ 生保開始等	-167人	-163人	-220人	-217人	-253人
× 75歳到達	-4,630人	-4,086人	-3,195人	-4,378人	-5,660人
* 自然減等	-214人	-255人	-244人	-302人	-356人

## 6-③. 軽減世帯の割合

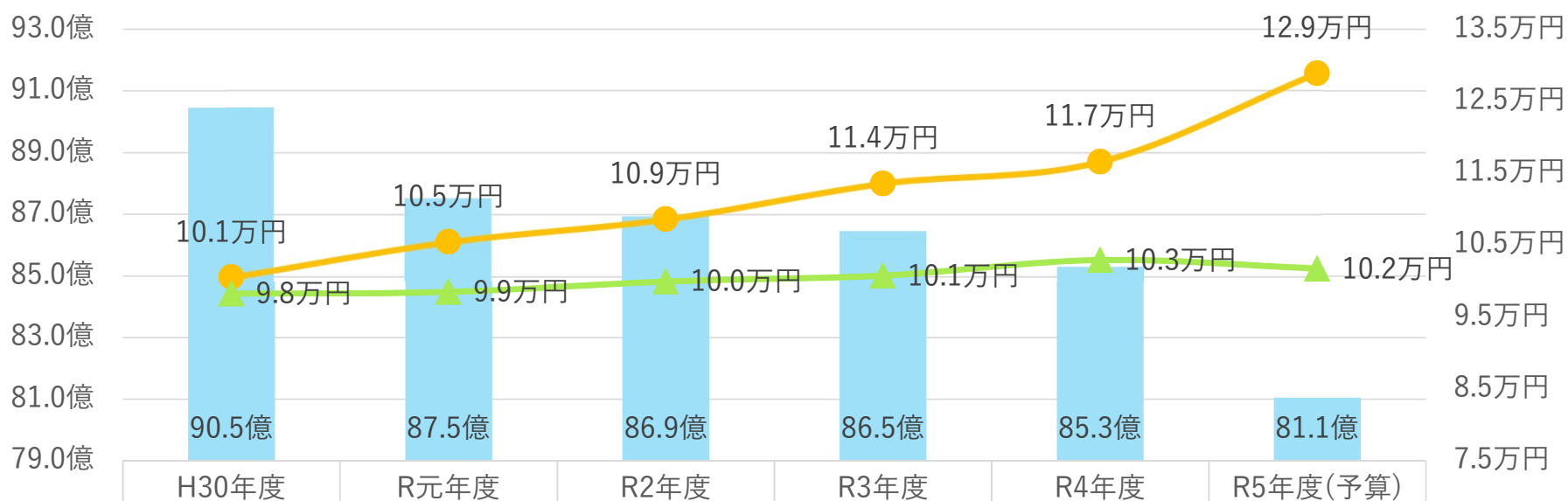


	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
7割軽減世帯	16,727世帯	17,250世帯	17,431世帯	17,559世帯	17,790世帯	17,831世帯	16,842世帯	17,405世帯	18,841世帯
5割軽減世帯	5,885世帯	6,605世帯	6,822世帯	6,728世帯	6,940世帯	6,997世帯	7,178世帯	7,081世帯	6,886世帯
2割軽減世帯	6,833世帯	7,380世帯	7,638世帯	7,409世帯	7,420世帯	7,499世帯	7,438世帯	7,378世帯	7,064世帯
合計	29,445世帯	31,235世帯	31,891世帯	31,696世帯	32,150世帯	32,327世帯	31,458世帯	31,864世帯	32,791世帯

## 7-①. 一人当たり保険料調定額の推移

### ■近年の状況

県の示す標準保険料と一人当たりの保険料調定額の乖離が拡大している。



■ 現年調定総額	9,046,198千円	8,752,807千円	8,694,482千円	8,647,696千円	8,532,081千円	8,105,328千円
● 一人当たり標準保険料	100,561円	105,461円	108,608円	113,572円	116,598円	128,884円
▲ 一人当たり保険料	98,260円	98,507円	99,955円	100,777円	102,940円	101,745円

#### 【用語定義】

- 調定額：一般・退職の合計（令和5年度のみ予算ベース）
- 被保険者数：3-2月平均（年報A表）

## 7-②. 一人当たり医療費の推移

### ■これまでの医療費の増加要因

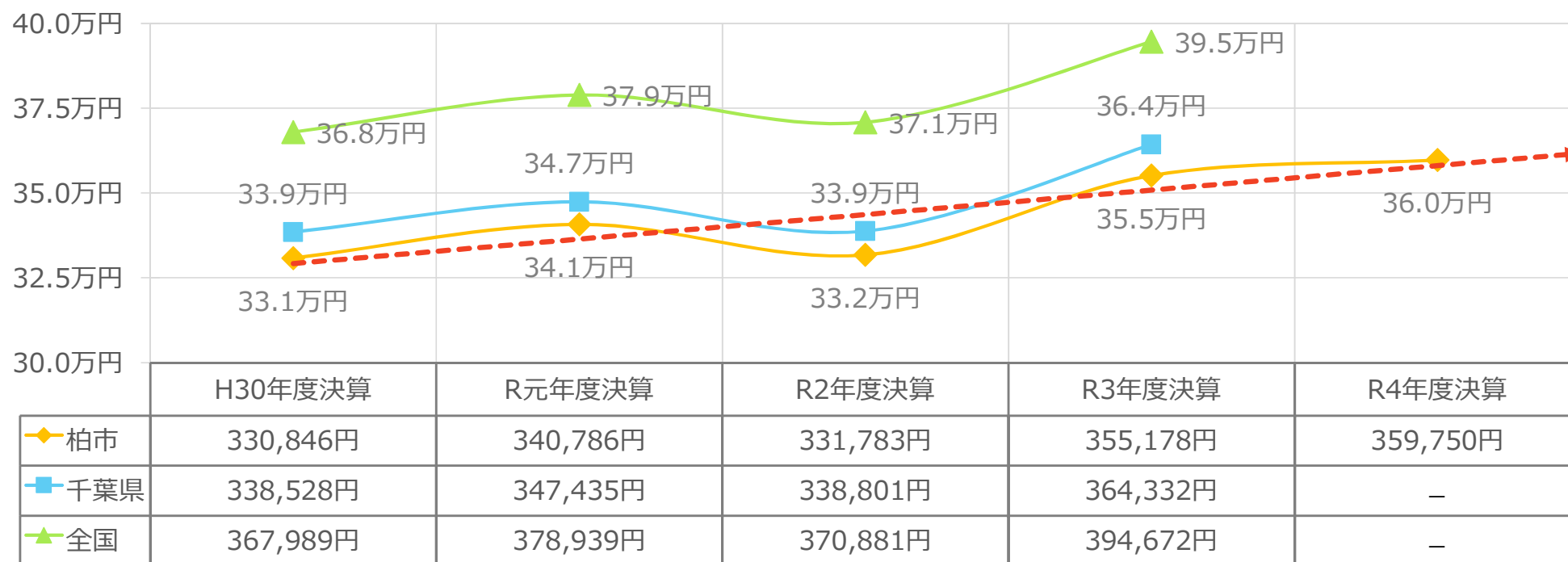
被保険者の高齢化や医療の高度化により一人当たりの医療費は増加傾向であった。

### ■令和2年度の医療費の減少要因

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による受診控えの影響と推察される。

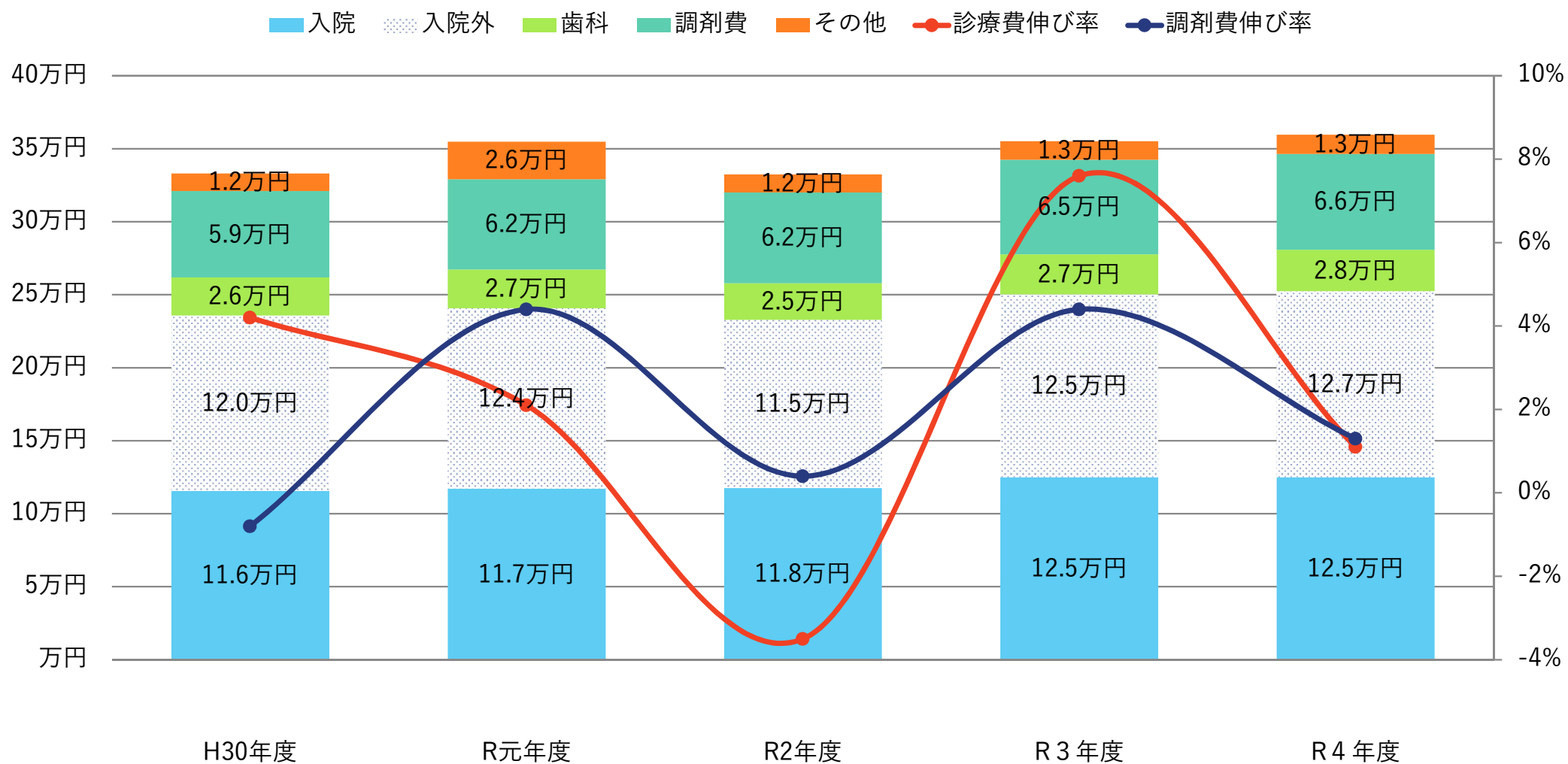
### ■令和3～4年度の医療費の増加要因

患者の受診状況が回復したこと、被保険者の高齢化が進んでいることなどが考えられる。





## 7-③. 一人当たり医療費の内訳



## 8.今後の予定

第1回 7月13日(木) 【今回】

- ・ 議題：令和4年度決算
- ・ 諮問：赤字解消指針

第2回 8月17日(木)

- ・ 赤字解消指針に関する協議①

第3回 10月26日(木)

- ・ 赤字解消指針に関する協議②

第4回 11月16日(木)

- ・ 赤字解消指針に関する協議③

第5回 1月11日(木)

- ・ 議題：令和6年度予算(案)